

## 紛失したUSBメモリの発見について

本学健康福祉学部看護学科の教員が学生の個人情報が入ったUSBメモリを紛失した事故について、2月10日（火）、公表いたしましたが、この度、当該USBメモリが発見されましたのでご報告いたします。

### 記

#### 1 発見の経緯

2月12日（木）、午前8時30分頃、本学の看護学科教員（紛失事故を起こした者とは別の教員）が実習先施設へ出張した際、学生と教員の荷物の一時保管場所として実習先施設から貸与されている縦型キャビネットの最下段の奥（引出しの枠外）に、USBが入った小物入れがあるのを偶然、発見した。

当該箇所にあった原因は、1月27日（火）（紛失を認識した日）の朝、紛失事故を起こした教員が、キャビネットの引き出しに一時、鞆を入れた際、他の荷物と接触して、鞆が傾き、鞆の中から小物入れが最下段の枠外に落ちたことが考えられる。

過日の搜索においては、引出しの枠外まで注意が行き渡らなかったため、発見できなかったものである。

#### 2 情報流失の可能性

紛失事故を起こした教員が他の教員立会いのもと、発見したUSBメモリの内容を確認したところ、ファイルのプロパティから、アクセス日時は本人がUSBメモリに複写した日時が記録されており、またパスワードもかかったままであった。

したがって、情報の流失の可能性はないものと考えられる。

#### 3 学生への謝罪と個人情報管理の徹底について

2月10日（火）、取り急ぎ、個人情報紛失に該当する学生に対して、本件に対する説明と謝罪をメールにて行い、本学教職員に対して、個人情報管理の徹底を図るよう周知を行いました。

また、2月12日（木）、該当学生に対し、USBメモリが発見され情報の流失の可能性がないことをあらためて報告いたしました。

なお、今後も個人情報管理の徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

#### 【問い合わせ先】

首都大学東京荒川キャンパス管理部管理課

TEL：03-3819-1404

FAX：03-3819-1406